

2022 年期 第 5 回テーマ

33～40 班

| | |
|-----|---|
| テーマ | <p>あなたは、日本を代表する自動車部品メーカー（上場企業）の社長に就任しています。</p> <p>社内からの報告により、あなたの会社が製造している主要部品において、必要な品質を満たしていないにもかかわらず社内検査で合格を出し、出荷するという組織的な検査不正が見つかりました。この不正は、あなたが社長就任前の10年間にわたって行われていましたが、幸い、過去にこの部品を原因とした重大事故等は発生していません。しかし、過去に遡って製品をリコールするとなると莫大な費用がかかり、倒産の可能性が高くなると考えられるとともに、部品の品質も致命的でいつ大事故が起こってもおかしくないという報告が上がっています。この検査不正については社内でも工場長、製造部門の取締役等わずかな人物しか事情を把握していません。</p> <p>(1)あなたは社長としてこの不正を隠蔽すると判断したとします。それにはどのような背景が考えられるでしょうか？不正のトライアングル（動機、機会、正当化）の観点からそれぞれ説明しなさい。</p> <p>(2)不正を隠蔽しない組織風土を作るには、社長として、どのような仕組みを社内に作る方が良いでしょうか。(1)の記載と関連させていくつか具体例を挙げ、その理由を説明しなさい。（設問②における”不正”の類型については、検査不正に限定しなくてもよい）</p> |
|-----|---|